

杏林

新入生特集号
KYORIN DAIGAKU SHIMBUN
大学新聞

校歌 作詞 池田文雄
作曲 古閑裕而

日の光 花は薄紅
杏林の 若き血は 真実ひとすじ
奥深き 学びの道を
ねがい求めん

雲流る 白き学舎
清澄の 友よ師よ 緑うるわし
日に新た 科学の英智
きわめ尽くさん

風香る 信愛の 眼すずしく
もろ人の 生命尊し
董奉の 恵の林
みのり仰がん
うみやまを
はるか往くとも
もしびを
明く照らさん

ようこそ杏林大学へ

学園の今を内外に発信する杏林大学新聞、今号は学園の一員となる皆さんを歓迎し、安心して大学生活を始めようための特集号として発行しました。さて、本学は今年、学園の創立60周年を迎えます。改めて開学以来掲げて来た建学の精神を思い起こし、社会に役立つ人材を育成する総合大学として新たなスタートラインに立っています。そうした年に入学された皆さんは、一人ひとりが魅力ある個性を持ち、無限の可能性を秘めた存在です。今や世界は国際紛争や社会の分断化、気候変動などによって不安定さを増し、一方でITの進化に伴う生成AIやSNSの急速な普及が世の中を大きく変容させています。皆さんはそうした新しい時代を担い、生き抜いて行く世代です。これからの4年間あるいは6年間、人間性の尊重を謳う本学で、皆さんがアカデミズムとヒューマニズムを共に学び、より良い人間社会を形成する人材に成長することを願っています。



井の頭キャンパスC棟



三鷹キャンパス医学部講義棟A

自ら学び 実り多い大学生活を



学長 渡邊 卓 (わたなべ たかし)

1953年生まれ。東京大学医学部医学科卒業。1991年杏林大学着任。医学部付属病院臨床検査部長、医学部長を経て、2022年4月に学長就任

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

いよいよ大学生活のスタートですね。新たな生活に向けて、何かと慌ただしい日々をお過ごしのことと思いますが、困ったこと、わからないことなどありましたら、遠慮なく教職員に相談してください。杏林大学は、君たち学生と教職員との密接なコミュニケーションを何よりも大切にしています。

さて、大学での勉学は、自ら学ぶ姿勢をもって臨むことが重要です。大学を卒業して社会に出ると、自分の力で社会の荒波を乗り越え、自身の進む道を切り拓いてゆかなくてはなりません。大学在学中に、そのための力をしっかり培っておく必要があるのです。

一方で、大学生活はさまざまなことに自由にチャレンジできる、人生の中での貴重な一時期でもあります。勉学以外にもクラブ活動に、趣味に、ボランティア活動にと、さまざまな事柄に挑戦し、そういった経験や出会いを通して、世の中を正しく見通すための力を養っていただきたいと思います。

皆様の杏林大学での学生生活が実り多いものとなりますよう、心から期待しております。

建学の精神・教育理念

杏林大学の建学の精神は「真善美の探究」です。「真善美の探究」を通じて、すぐれた人格を持ち、人のために尽くすことのできる人材を育成することが本学の教育理念です。

真 真理を究めるための学問をすることです。真実・真理に対して謙虚であるとともに、自ら進んで学び、研究することを意味します。

善 倫理観を持ったよき人間性・人格を形成することです。他人に対してやさしく、思いやる心を持った人格を自ら築き上げて、人のために尽くすことです。

美 自然を愛し、他人を尊重し、自らの身を持つのに厳しくあれば、美しい風格のある人間に成長していくということです。

沿革

1966	1970	1971	1976	1979	1984	1988	1993	2016	2024	2026
杏林学園短期大学開設	医学部付属病院開院	杏林大学医学部開設 (2020年に開設した医学部付属看護専門学校の前身)	大学院医学研究科開設	保健学部開設	社会科学部(現総合政策学部)開設 大学院保健学研究科開設	外国語学部開設	大学院国際協力研究科開設	井の頭キャンパス開設	創立50周年 医学部付属杉並病院開院	創立60周年

「なぜ」の追究

医学部医学科6年 ^{きしの ひさき} 岸野 日咲

解剖学教室でご遺体保存法の一つ「ピロリドン固定法」について研究しました。解剖学実習をはじめ、ご遺体は通常ホルマリン固定で保存しますが、生体よりも硬くなります。しかし、解剖学教室で開発されたピロリドン固定法を用いると、ご遺体が軟らかい状態で保たれるため、医師や学生が模擬手術などを実践させていただく上で向いています。「なぜ」このような特徴が生まれるのか、その理由を知りたいと考え、解剖学教室の門を叩きました。



実際に研究してみると、疑問への答えを自分で探す過程が楽しいと感じました。その楽しさは、教科書にはまだ記されていない、新たな疑問に自分で向き合えるところだと思います。

杏林大学にはそんな意欲に応えてくれる先生がたくさんいますので、皆さんも様々なことに「なぜ」と思ってみませんか。



研究成果は学術集会で報告しました



顕微鏡で組織を観察している研究の様子

わたしたちの学生生活

医学部 / 保健学部

福島で学んだ“地域と医療”のつながり

保健学部看護学科看護養護教育学専攻4年 ^{すがい ななこ} 須貝 菜々子

昨夏、福島県で行われた「地域医療体験」に参加しました。現地では病院や老人施設を訪問して、地域での医療・福祉の現場を見学しました。患者さんや施設の利用者の方々と話をすると、皆さんが住民同士の支え合いや、一見医療とは無関係に思えるその土地の日常の風景をととても大切にしていることがわかり、それが心身の健康や安心につながっていると感じました。患者さんを診る際は、病状や症状だけでなく、その人が何を大切に暮らしたいかを知ることも必要だと学びました。



また、地元の方に地域の歴史を伝える資料館や東日本大震災の記憶と教訓を伝承する施設などを案内してもらい、地域への理解を深められたことは、土地柄と医療の結びつきを学ぶ上で大変役に立ちました。今回学んだことを糧に、地域に根差した医療の担い手として成長したいと強く思いました。



地元の方の案内で町を歩きながら、地域の特長などを教えてもらいました



活動を通していつもと違う視点で医療や福祉について学びました

杏林大学の1年

4月 ●入学式



クラブ活動新歓イベント

6月 ●優秀学生・学部賞表彰式
●杏会総会
(保護者会/学部により開催時期が異なります)



優秀学生・学部賞表彰式

7月 ●春学期 国際交流の集い
●定期試験
●オープンキャンパス
(7月以外も実施)



国際交流の集い

8月 ●夏季休業



ゼミ合宿



インターシップ



クラブ活動夏の大会



海外研修



9月 ●卒業式(秋)
●入学式(秋)



杏林祭

10月 ●杏林祭



11月 ●白衣式
●創立記念日 (11月11日)



就活イベント

12月 ●秋学期 国際交流の集い
●冬季休業



白衣式

1月 ●定期試験



学術大会 研究発表



卒業研究発表会

3月 ●卒業式



卒業式

@kyorin_university



キャンパスの日常やイベントなどを配信しています。ぜひご覧ください!





海外留学は気づきと発見のチャンス!

外国語学部観光交流文化学科4年 齋藤 倅歩

オーストラリアのニューカッスル大学に5ヶ月間留学しました。現地での生活や英語環境に慣れるにつれて交友関係が広がり、文化や考え方が違う様々なクラスメイトとの触れ合いを通じて多様な価値観を知ることができました。そして、帰国後はさらにタイでのフィールドスタディに参加しました。山岳民族の家庭にホームステイをし、電気や設備に頼らない、自給自足の生活を体験する中で、物に溢れた自分たちの暮らしが決して当たり前ではなく、多くの人に支えられて成り立っていることに気づきました。また、本当の幸せとは、物質的な豊かさや便利さではなく、人の温かさや感謝の気持ちを素直に伝え合う心の中に生まれるものだと考えるようになりました。異なる環境に身を置くことによって、それまで気づけなかった新たな価値観に出会ったり、自分の強みや意外な一面を発見したりすることがあるかもしれません。



わたしたちの学生生活

外国語学部 / 総合政策学部

学外に飛び出して新たな学びを見つけよう!

総合政策学部総合政策学科4年 依田 雄真

過疎に悩む奥多摩地域の振興と住民の生活向上、鉄道経営の改善などを目的にしたJR青梅線沿線の地域創生プロジェクトに参加しています。昨年は、奥多摩町を舞台に活動し、わさび田などの観光スポットを巡るツアーに参加して、学生目線で感じた観光PRのアイデアをツアーの企画会社に提言しました。



また、70周年を迎えた町の記念イベントでは、町を紹介する展示や催しを企画して、来場者に奥多摩町の魅力を感じてもらいました。こうした活動を通して農家や商店、役場の方々から直接話を聞いたり、プロジェクトのメンバーや地域の方々とは何度も打ち合わせを重ねたりしました。実践的な活動を積み重ねる中で、地域の課題を自分ごととして捉える姿勢や、相手の想いを丁寧に汲み取る大切さを学びました。大学では、学外に飛び出すことで出会える学びもたくさんあります。色々なことに挑戦してみましょう!



留学で多様性を受け入れる姿勢も身につきました



フィールドスタディでは、タイの山岳民族の暮らしを体験しました



農家を訪問して、奥多摩の特産品や農業の課題について話を伺いました



山の斜面に広がるわさび田。伝統的なわさび栽培が行われています

キャンパス周辺

都心にアクセスしやすい吉祥寺、三鷹、調布エリア。駅周辺のにぎやかな商業ゾーンを一步踏み出すと文化施設や豊かな自然が楽しめます。



吉祥寺駅周辺
おしゃれなカフェやショップが軒を連ねる街。お気に入りの店が見つかるかも!

三鷹駅と駅周辺

中央線(快速)と中央・総武線(各駅停車)が停車する主要駅。駅構内には、買い物や飲食に便利な商業施設があります。

国立天文台

自然豊かな敷地は約26万㎡の広さ。散策しながら古い観測施設を見学できます。

山本有三記念館

小説『路傍の石』などで知られる文豪山本有三の記念館はおしゃれな洋館。



井の頭恩賜公園
ベンチでゆっくり、ポートでのんびり、自然にふれながら思い思いに過ごしてみよう?

深大寺

蕎麦やだるま市で有名な深大寺。都内では浅草の浅草寺に次ぐ古いお寺です。縁結び・良縁成就のご利益もあるそうです。

杏林大学医学部附属杉並病院

(所在地: 杉並区和田) 本学の2つ目の附属病院として2024年4月に開院しました。

ダイ・ハードに生きよ!

~マクレーンのように挑戦的な大学生活を!



専門のアメリカ小説研究から最近では映画学にシフトしつつあり、その知識を英語の授業にも援用している。授業では、『ダイ・ハード』のような今の大学生が生まれる前の1980~90年代くらいの映画を用いて、台詞を聞き取ったり、主人公の心情を解釈したり、俳優になりきって演じたりなど、様々な学習活動を行っている。役者が稽古をつけるように、語学の習得に「なりきり」は有効だと考えている。

私たちが映画を見る際には、主人公への「なりきり」、専門的に言えば、「同一化」が必要だとされている。同時に、映画の主人公にも何者かへの「なりきり」が要求される。映画の脚本にはルールがあり、「設定」「対立」「解決」の三幕構成から成り立っている。劇中では、何かしらの問題を抱えた主人公は自分とは異なる何者かになり、苦難や危機的な状況から生き延びて何か大きな目標を達成する。その結果、当初の問題は解決され、主人公は幸福や安らぎを得ることになる。この二重の「なりきり」過程に私たちは擬似的に巻き込まれるのだ。これは、授業や講義における課題を通じて、様々な問題に直面し、試行錯誤を重ねた結果、自分なりの答えを見つけていくという、大学での学びに部分的に通じるかもしれない。

もう一つの映画のルールとして「主人公は死なない」がある。なぜならば、主人公に同一化する私たちにとって、主人公の死が視聴に耐えない経験になってしまうからだ。因みに、前述の『ダイ・ハード』には「簡単には死なない」という意味のほか、「執念深い」という意味もある。銃で撃たれる、ビルから落ちる、爆発に巻き込まれるという絶体絶命の状況に陥っても、主人公のマクレーンは執念深い怨霊の如く死ぬことはないのだ。

大学生活はどのような主人公になるかを探し求める冒険映画みたいなものだ。私の授業以外にも様々な「なりきり」を体感できる授業や活動があるはずだ。主人公は何をしても死なない。学生諸君には、克服すべき困難から逃避せず、目標をしっかりと掲げ、マクレーンのように執念深く挑戦し続けてもらいたい。



外国語学部・講師 渡邊 俊 (わたなべ しゅん)

早稲田大学教育学部英語英文学科卒業。同大学院教育学研究科単位取得満期退学(アメリカ文学)。早稲田大学教育学部英語英文学科助手を経て、2021年杏林大学外国語学部着任。専門はアメリカ研究。本学以外にも早稲田大学、明治大学でヒッチコック、キューブリックなどアメリカ映画を題材とする講義を複数担当

数字 で見^る 杏林大学



杏林大学広報キャラクター
きよプリコット

杏林学園
創立
1966年



4学部14学科
3研究科

- 医学部…1学科
- 保健学部…8学科
- 総合政策学部…2学科
- 外国語学部…3学科
- 医学研究科
- 保健学研究科
- 国際協力研究科

3つの
キャンパス



- 三鷹キャンパス
- 井の頭キャンパス
- 八王子キャンパス

学生数
(学部・大学院)

6,017人

卒業生数
45,714人

累計 学位授与数
※2025年5月



就職率

2025年3月卒業生

- 医学部……………98.4%
- 保健学部……………98.1%
- 総合政策学部…98.5%
- 外国語学部………98.7%

データサイエンス教育
データサイエンス
科目配置 100%

全学生が履修可能な
データサイエンス
教育プログラムを実施



学生生活の
充実度

(上級生)

77%~86%

- 医学部…86%
- 保健学部…85%
- 総合政策学部…77%
- 外国語学部…83%

国家試験合格率

2025年3月卒業生

- | | |
|---------------|----------------|
| 医師……………97% | 臨床工学技士……………96% |
| 臨床検査技師…100% | 救急救命士……………96% |
| 社会福祉士……………66% | 理学療法士……………98% |
| 看護師……………100% | 作業療法士……………100% |
| 保健師……………100% | 診療放射線技師…100% |
| 助産師……………100% | 公認心理師……………81% |

2025年度
海外研修
留学者数

174人

海外協定校
16カ国・地域
62校



クラブ・サークル

63団体

2026年度



自分らしく大学生活を送るために

ご入学おめでとうございます。

これから始まる大学生活への期待に胸を膨らませつつも、同時に、不安や戸惑いの気持ちもお持ちかもしれません。焦る必要はありません。迷ったり悩んだりしながら「こんな感じでやっていけばいいんだな」と、みなさんがそれぞれに、自分らしく大学生活を送ってほしいと思います。

杏林大学では、様々な形でみなさんの学生生活をサポートしています。担任の先生をはじめ、生活上の心配事には学生支援課、具合の悪い時には保健センター。そして、心の相談場所とし

学生相談専任カウンセラー 石田 ゆかり (いしだ ゆかり)

て学生相談室があります。専任のカウンセラー2名体制で、日々、みなさんの相談をお受けしています。気持ちがつらい時にはもちろん、「ちょっと話を聞いてほしい」時にも利用できます。話すことで気持ちが落ち着いたり、整理されることもあります。カウンセラーと一緒に時間をかけて解決のヒントを探すこともあります。保護者の方もお子さんについてご心配があまりの時にご利用できます。

みなさんが、やりたいことに挑戦し、学び、自分らしく大学生活を送れますように応援しています。

発行
杏林大学新聞 編集部
杏林学園 広報室
TEL.0422-44-0611
E-mail koho@ks.kyorin-u.ac.jp
URL <https://www.kyorin-u.ac.jp/>

読後の感想をお寄せください。
今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

